国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和２年１月２８日
震災伝承ﾈｯﾄﾜｰｸ協議会事務局

令和元年度
第４回震災伝承ネットワーク協議会の開催について

震災伝承ネットワーク協議会の今後の取組みや「震災伝承施設」の追加登録などの議論を行うため、東北地方整備局、青森県、岩手県、宮城県、福島県及び仙台市による震災伝承ネットワーク協議会を１月３０日に開催します。

１．開催概要

日時：令和２年１月３０日（木）　10：00～11：30
場所：東北地方整備局 大会議室（仙台合同庁舎 B 棟 12 階）
宮城県仙台市青葉区本町 3 丁目 3 番 1 号

２．主な議題

■ 今年度の取組みについて
■ 令和２年度の取組みについて
■ 「震災伝承施設」の追加登録について　　ほか

３．その他

・受付は 9 時 30 分から行います。
・本協議会は、報道関係者を対象に一部公開いたしますが、傍聴、カメラ撮りともに、冒頭の挨拶までとし、議事以降は非公開とさせていただきます。
・協議会終了後、仙台合同庁舎 B 棟 10 階第 3 会議室において、東北地方整備局の担当者がお問い合わせに応じます（11:30～12:00）。

【発表記者会】

青森県政記者会、岩手県政記者クラブ、宮城県政記者会、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会

【 問合せ先 】
震災伝承ネットワーク協議会事務局（国土交通省東北地方整備局企画部）
震災対策調整官　大森（おおもり） 祐一（ゆういち）　（内線3118）
企画課　建設専門官　松本（まつもと） 章（あきら）　（内線3153）
代表電話：022-225-2171　FAX：022-221-9890

震災の教訓を伝える震災遺構等

国土交通省

震災遺構　たろう観光ホテル（岩手県宮古市）



4階まで浸水、2階までは柱を残し流失。
館内では、震災当日に同ホテルで撮影された津波の映像も視聴可能。

震災遺構　奇跡の一本松（岩手県陸前高田市）



＜震災前の高田松原＞



「名勝　高田松原」は、江戸時代（約350年前）から白砂青松の景観。（約7万本の松林）
大津波に唯一耐え残った松が「奇跡の一本松」として復興のシンボルに。

震災遺構 仙台市立荒浜（あらはま）小学校（宮城県仙台市）



＜1階廊下＞



震災当時は、児童や教職員、住民ら320人が避難し、2階まで浸水。
防災・減災の取り組み、模型などによる震災前の町並みも体験可能。

津波の石碑（岩手県釜石市両石（りょういし）町）



＜東日本大震災では
ガレキに埋もれる＞



津波の惨禍を繰り返さないために先人が残したメッセージ（石碑）
中央と右側の2基は明治29年、左の1基は昭和8年の碑。

震災伝承ネットワーク協議会

国土交通省

○大震災の記録や経験、教訓等を伝える震災伝承をより効果的・効率的に行うためのネットワーク化に向けた連携を図ることを目的に、「震災伝承ネットワーク協議会」（整備局、被災4県1市）を発足。（平成30年7月）

○併せて同協議会のもとに「震災伝承検討会」を設置し（平成30年12月）、「震災伝承ネットワーク協議会」の3つの取り組み等について、学識者、被災市、産業界等からも幅広く意見を聴取。

震災伝承ネットワーク協議会

【構成委員】

東北地方整備局　局長（会長）、
企画部長（副会長）
建政部長

青森県　県土整備部長
岩手県　復興局長
県土整備部長
宮城県　震災復興・企画部長
土木部長
福島県　企画調整部長
土木部長
仙台市　まちづくり政策局長
都市整備局長



震災伝承検討会

【座長】　■今村　文彦　東北大学災害科学国際研究所長

【委員】

学　識　者　■小沢　喜仁　福島大学教授　■南　正昭　岩手大学教授
■涌井　史郎　東京都市大学教授

民間業団体等　■小縣　方樹　（一社）東北観光推進機構会長（代表理事）
■海輪　誠　（一社）東北経済連合会会長
■鎌田　宏　東北六県商工会議所連合会会長
■千葉　嘉春　東北建設業協会連合会会長
■等々力　健　日本放送協会仙台放送局長
■平田　尚久　（一社）日本建設業連合会東北支部長

自　治　体　■小林　眞　八戸市長　■山本　正徳　宮古市長
■亀山　紘　石巻市長　■清水　敏男　いわき市長

＜検討経緯＞

平成30年7月19日　協議会発足（第1回 協議会）

平成30年10月31日「震災伝承シンポジウム」（協議会主催）

平成30年11月12日　第2回 協議会

具体的な取組内容について合意

震災伝承施設の募集

■募集対象：東日本大震災に関わる遺構、慰霊碑、モニュメント等の施設
■募集期間：（第一次募集）　H30.12.3～H31.1.31

震災伝承検討会

産学官参画により、震災伝承ネットワークの取組の推進体制について検討

第1回　H30年12月11日
第2回　H31年　1月18日
⇒　H31年3月4日　提言書の手交（提出）
『震災伝承の取り組みに関する提言　～産学官民の連携による推進～』



平成31年3月6日　第3回　協議会

平成31年3月28日　震災伝承施設の登録（第一次募集）　192件

震災伝承ネットワーク協議会における具体的な取組方針

国土交通省

○産学官の連携により、震災伝承をネットワーク化しつつ、被災地の交流促進や地域創生、防災力の強化を図る。

1. 震災伝承ネットワークの運営・伝承ロード形成

#1 伝承施設等の公募・分類・管理・広報
#2 伝承ロードの形成
#3 伝承施設における連携事業の推進

震災伝承施設の募集

■募集対象：東日本大震災に関わる遺構、慰霊碑、モニュメント等の施設
■募集期間：（第一次募集） H30.12.3～H31.1.31

⇒ 第一次募集の登録　192施設（現在200施設）

施設の特性により分類

訪問しやすさ ⇒駐車場など
理解しやすさ ⇒案内員、多言語対応など

分類に応じ、統一した標章（ピクトグラム）の運用



標章（ピクトグラム）



▲設置されたピクト入り案内看板

2. 防災プログラムの基盤形成と開発

#4 伝承すべき技術や震災遺構等のアーカイブ化
#5 地域に対する防災教育プログラムの提供
（学校、自治体、企業等向け）
#6 官民連携における復旧活動の可視化



出典：明治日本の産業革命遺産HP



出典：せんだい3.11メモリアル交流館HP



出典：震災津波伝承施設展示等基本計画

3. 復興に向けた地方創生・地元支援

#7 地方活性化コンサルティング事業
#8 一般向けツーリズムのツアー化企画
#9 国内カンファレンス、国際会議等の開催や支援



地域活性化協議会
（提供：東北国営公園事務所）



出典：三陸ジオパークHP



出典：世界防災フォーラム@仙台2017
実行委員会HP

震災伝承検討会における提言

国土交通省

震災伝承検討会 （平成30年12月発足）

○ 期待される震災伝承の取り組み

・「震災伝承施設の活用」、「教訓のアーカイブ化」、「防災力の強化」、「交流促進による地域の活性化」の4つの観点から幅広い取り組みが期待される。

○ 今後の取り組みの進め方

・東北地域の産学官民が連携して進める必要がある

・各機関が連携した推進体制を早急に構築すべき



＜座長＞
今村文彦　東北大学
災害科学国際研究所長





提言書の手交

3.11伝承ロードのイメージ

